

都道府県国保ヘルスアップ支援事業を活用した市町村支援について

1 レセプトデータ等分析・活用事業

(1) KDB補助システム利用環境整備

【内容】

市町村が、国保データベース（以下「KDB」という。）システムを活用して、保健指導の対象者等を効率的に抽出し、過去の治療歴等を踏まえて対象者に応じた適切な介入ができるよう支援するため、KDBシステムの利用を補助するシステム（KDB補助システム）を利用できる環境を整備する。

【取組状況】

- ・ 8月4日に企画提案競技を実施して受託候補者を選定した後、契約の内容について協議中。
- ・ 年度内に市町村向け操作説明会を実施し、令和4年度から本格稼働予定。

(2) データ分析による市町村国保保健事業支援業務

【内容】

レセプトデータ等の分析を行い、市町村ごとの健康課題を明確にするとともに要因分析を行い、それぞれの市町村の課題や特性に応じた効果的な保健事業を提案し、市町村国保の医療費適正化を支援する。

【取組状況】

- ・ 8月18日に企画提案競技を実施し、受託候補者を選定予定。
- ・ 年度内に、市町村向けに分析結果の説明会を開催予定。

(3) レセプトデータ等活用支援事業

【内容】

市町村を訪問し、KDBシステム等を用いたデータの抽出及び分析方法について学ぶ機会を設けるとともに、市町村がそれぞれの健康課題に応じた保健事業を検討・実施できるよう、指導・助言を行う。

【取組状況】

- ・ 6月下旬に、令和2年度に引き続き、県立看護大学と委託契約を締結。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大もあり、指導・助言を希望する市町村を募集するに至っていない。

2 糖尿病性腎症重症化予防事業

(1) 医師向け研修会の開催

【内容】

糖尿病連携手帳を活用し、県内各地域において医師を中心とした多職種連携体制を構築できるよう、医師向け研修会を開催する。

【取組状況】

- ・ 5月に宮崎県医師会と委託契約を締結。宮崎県糖尿病対策推進会議の助言を受け、講師の選定、開催方法の検討を行い、9月下旬にオンライン研修を開催する予定。
- ・ 講師（予定）：中津留 邦展 先生（日南市立中部病院）
上野 浩晶 先生（宮崎大学医学部内科学講座
血液・糖尿病・内分泌内科学分野）

(2) 地域ごとの多職種連携体制の構築

【内容】

糖尿病連携手帳を活用し、地域における多職種連携体制を構築するため、県の各保健所において事例検討や研修会等を実施する。

【取組状況】

- ・ 3月に開催した保健所担当者会議（糖尿病・慢性腎臓病発症・重症化予防対策事業に係る保健所担当者会議）において、各保健所へ事業内容を説明。
- ・ 現在、新型コロナウイルスの状況をみながら研修会の開催を計画中。

3 適正服薬推進事業

【内容】

市町村が行う重複服薬者等に対する保健指導を支援し、適正服薬による健康保持及び医療費適正化を推進するため、市町村保健師と共に訪問指導を行う薬剤師を派遣する。

【取組状況】

- ・ 令和2年度に引き続き、宮崎県薬剤師会と委託契約を締結。
8月上旬に宮崎県医師会、宮崎県歯科医師会へ協力を依頼。
- ・ 現在、市町村に対象者リストの作成・提出を依頼中。
- ・ 訪問指導対象者から事前に同意を得る際など、事業に対する理解が得られないケースが多く、本事業の周知に課題があるため、事業の意義、内容等を周知するためのチラシを作成し、市町村に提供予定。